

帰宅困難者受入れ

災害発生時、建物屋内の一部スペースを帰宅困難者の受入れ場所として開放します。また、災害発生後に提供する水・食料を完備します。



ヘリポート

鶴間公園運動広場は災害発生の際、ヘリポートとして活用が可能です。

災害対応トイレ

鶴間公園内に、断水時でも利用可能な災害対応トイレ6基を設置しました。

調整池

調整池の容量をこれまでの約9,000m<sup>3</sup>から約20,000m<sup>3</sup>に拡張し、周辺エリア33haに対する雨水浸水対策を強化しました。また、調整池は地下式とし、上部は鶴間公園のグラウンド等として利用します。

災害用備蓄物資  
災害用ベンダー導入

災害発生に備え、災害飲料自動販売機の導入により、発災時3,000ℓを飲料水として提供します。

防火水槽

多くの人を訪れる駅前市街地として、消防活動を円滑に行えるよう、防火水槽を各所に配置しました。



◆調整池工事の様子



[更なるまちの防災強化に向けて]

町田市・東京急行電鉄株式会社は、近年の豪雨対応をはじめとする災害時の連携強化に向けて、洪水時避難場所の指定等を行ってまいります。